

令和7年度 農作物病虫害発生予察12月月報

令和8年（2026年）1月 5日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
12.1	8.2	8.4	△ 0.2	13.8	13.8	0.0	3.9	3.8	0.1
12.2	7.2	7.3	△ 0.1	15.4	12.6	2.8	1.5	2.9	△ 1.4
12.3	7.0	6.6	0.4	11.0	11.7	△ 0.7	2.3	2.2	0.1
12.4	9.0	6.1	2.9	15.8	11.2	4.6	3.8	1.8	2.0
12.5	9.9	5.7	4.2	14.3	10.9	3.4	4.7	1.4	3.3
12.6	4.5	5.2	△ 0.7	9.1	10.5	△ 1.4	0.5	0.9	△ 0.4
平均・計	7.6	6.6	1.1	13.2	11.8	1.5	2.8	2.2	0.6
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
12.1	0.0	13.5	△ 13.5	20.7	20.7	0.0			
12.2	0.0	13.0	△ 13.0	34.1	19.4	14.7			
12.3	20.5	11.3	9.2	15.3	18.3	△ 3.0			
12.4	6.0	10.1	△ 4.1	20.8	18.0	2.8			
12.5	10.0	10.0	0.0	20.7	18.6	2.1			
12.6	3.0	11.5	△ 8.5	17.0	23.3	△ 6.3			
平均・計	39.5	69.4	△ 29.9	128.6	118.3	10.3			

II 作物の生育状況

- (1) キャベツ : 定植以降の気温が高めに推移したことで、例年より生育が前進しており、12月以降は出荷量がかなり多くなった。今後も、安定的に出荷が続く見込み。
- (2) イチゴ : 花芽分化が平年より若干遅れたことから、かおり野の出荷は平年より若干遅い12月上旬から増加した。2番果は多くの地域で開花～果実肥大期に入っており、1月以降も順調に出荷が続く見込み。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2025年12月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ (収穫物被害調査:21ほ場) 紫斑病	発生ほ場率52.4%(平成26.4%)、発病粒率1.9%(平成0.5%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多	42
			中	42
			少	376
			計	460
べと病	発生ほ場率42.9%(平成21.9%)、被害粒率0.8%(平成0.4%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	376
ウイルス病	発生ほ場率0%(平成3.2%)、被害粒率0%(平成0.0%)で平年並みであった。	-	-	-
サヤムシガ類	発生ほ場率9.5%(平成15.7%)、被害粒率0.1%(平成0.1%)で平年並みであった。	県内全域	少	84
シロイチモジマダラメイガ	発生ほ場率4.8%(平成6.8%)、被害粒率0.0%(平成0.2%)で平年並みであった。	県内全域	少	42
マメシンクイガ	発生ほ場率19.0%(平成16.3%)、被害粒率1.4%(平成0.4%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中	125
			少	42
			計	167
フタスジヒメハムシ	発生ほ場率85.7%(平成91.0%)、被害莢率4.9%(平成7.3%)、被害粒率3.9%(平成4.1%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	多	42
			中	209
			少	501
			計	752
吸実性カメムシ類	発生ほ場率100%(平成80.1%)、被害粒率17.8%(平成6.7%)で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	125
			多	251
			中	418
			少	84
			計	878

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ (調査ほ場数:中甸10、下旬7) 黒腐病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率20.0%(平成4.2%)、発病株率3.0%(平成0.4%)、発病度0.8(平成0.1)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	40
	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9%(平成7.1%)、発病株率5.1%(平成0.4%)、発病度1.3(平成0.1)で平年に比べ多かった。			
菌核病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率40.0%(平成10.0%)、発病株率1.4%(平成0.7%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9%(平成15.2%)、発病株率1.7%(平成0.8%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	54

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では発生ほ場率0% (平 年4.5%)、発病株率0% (平年 1.3%)、発病度0 (平年0.3) で平年並 みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年3.7%)、発病株率0% (平年2.2%)、発 病度0 (平年0.6) で平年並みであった。	—	—
萎黄病 軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
イチゴ (調査ほ場数:20) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年7.5%)、発病株率0% (平年0.7%)、発 病果率0% (平年0.2%) で平年に比べ少 なかった。	—	—
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年15.5%)、発病株率0.1% (平年 2.2%)、発病葉率0% (平年0.7%)、発病 果率0.0% (平年0.2%) で平年に比べ少 なかった。	県内全域	少 5
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年1.4%)、発病株率0.1% (平年 0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年1.0%)、発病株率0.1% (平年 0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年5.0%)、発病株率0% (平年0.2%) で平 年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年25.2%)、寄生株率12.1% (平年 4.4%) で平年に比べ多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚 5 多 5 少 38 計 48
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0 % (平年30.5%)、寄生株率11.6% (平年 9.4%) で平年並みであった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚 5 中 10 少 14 計 29
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年2.5%)、寄生株率0.3% (平年 0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 14
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年20.0%)、寄生株率0% (平年2.8%) で 平年に比べ少なかった。	—	—
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年0%)、寄生株率0.1% (平年0%) で 平年に比べ多かった。	県内全域	少 5

2025年12月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生は場率10.0% (平年9.0%)、寄生花率0.2%(平年 0.6%)で平年並みであった。 主要種はヒラズハナアザミウマであっ た。	県内全域	中 5
			少 5
			計 10

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835) 28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp